

令和4年度学校自己評価表

愛知業大学工業高等学校

全日制課程

I 学校の現況

- (1) 学校名 愛知産業大学工業高等学校
- (2) 課程 全日制課程（男子）・通信制課程（男子・女子）
- (3) 所在地 全日制課程 〒460-0026 名古屋市中区伊勢山一丁目2番29号
橋校舎 〒460-0016 名古屋市中区橋二丁目6番15号
TEL：052-322-1911 FAX：052-332-3427
ホームページ：<http://asu-tech.ac.jp>
メールアドレス：info-tech@asu.ac.jp
通信制課程 〒460-0016 名古屋市中区橋一丁目21番25号
TEL：052-322-5255 FAX：052-322-5259
ホームページ：<http://asu-tchs.jp/>
メールアドレス：asu-tchs@asu.ac.jp

(4) 沿革

- 昭和36年 前身の愛知工芸高等学校が創立する。電気通信科設置
- 昭和37年 学校名が東海工業高等学校に改称される。電気科設置
- 昭和38年 電気通信科を電子科に改称
- 昭和40年 通信制課程普通科を新設
- 昭和43年 通信制課程に電気科・機械科を増設
- 昭和54年 岩塚校舎が落成
- 昭和57年 4号館が落成
- 平成6年 家庭科実習棟が落成
- 平成12年 通信制課程校舎が落成
- 平成13年 愛知産業大学工業高等学校に改称
- 平成14年 管理棟が落成
- 平成19年 2・3号館が落成
- 平成23年 創立50周年を迎える
- 平成27年 伊勢山本校舎が落成
- 平成29年 橋校舎110周年記念アリーナが落成
- 令和3年 創立60周年を迎える

(5) 学科の構成

①電気科

電気・電子に関する基礎的な知識や技術を習得し、電気の発生から応用までを幅広く学習します。具体的には、一般住宅における屋内配線などの電気工事やモーター・発電機さらにはロボットの制御、電気計測、コンピュータまで学びます。また、第二種電気工事士をはじめとする資格取得にも力を入れています。

《目標資格》 第三種電気主任技術者、第一種電気工事士、第二種電気工事士

②電子科

電気・電子における基礎知識および技術を学習。特にラジオ、テレビ、無線通信機などのしくみやパソコンの利用方法を重点的に取得していきます。また、ITパスポートや工事担任者試験などの資格取得もサポートしています。

《目標資格》 基本情報技術者、第一級アナログ通信、第二級アナログ通信、第一級デジタル通信、第二級デジタル通信、第1級陸上特殊無線技士、第2級陸上特殊無線技士

③機械科

1年生ではオルゴール製作やパソコン実習などを通して、工業人として必要な機械・電気・電子の基礎知識を習得。2年生からは機械科としての本格的な実習を重ねていき、3年生では先端技術を駆使した機械を使って実習を行います。

《目標資格》 アーク溶接技能検定、ガス溶接技能講習、旋盤技能検定

(6) 生徒数 (全日制課程) 令和5年5月1日現在

| 学年 | 1学年 | 2学年 | 3学年 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 電気科 | 80 | 33 | 74 | 147 |
| 電子科 | | 66 | 103 | 209 |
| 機械科 | 158 | 194 | 284 | 636 |
| 合計 | 238 | 293 | 461 | 992 |

II 教育目標

- (1) 「建学の精神」：豊かな知性と誠実な心を持ち 社会に貢献できる人材を育成する
- (2) 「教育目標」：社会から歓迎される技術者の育成をめざして、電気・電子・機械に関する専門教育を実践し、時代の進展を視野に入れた基礎能力を定着させ、更に、将来のスペシャリストとして、専門の力をつけるよう教育内容の充実と改善に努めております。また、心豊かで誠実で、また積極的に努力する人材の育成を教育理念としています。
- (3) 「校訓」：感謝・礼儀・誠実・積極・努力
- (4) 「誓いの言葉」：私たちは父母のおかげで勉学する機会が与えられているからその期待にそむかず一生に二度とこないこの時を無駄にすることなく勉学と修養に励み社会から喜ばれる人間になろう。

教務科（学習に関わる項目）

| 重点目標 | 主な結果 |
|--|---|
| <p>1. 基礎学力の向上と定着</p> <p>①成績不振者に対して、1・2学期に面談を実施し、学年末の原級留置「0」を目指す。</p> <p>②定期試験を始め、各種試験における問題行動「0」を目指す。また、体育授業におけるけがや事故の防止に努める。</p> <p>③進路に向けた基礎学力の向上と定着。</p> <p>2. 電気・電子科</p> <p>①安全指導の徹底と実習災害「0」。</p> <p>②整理整頓の励行および施設・設備の管理徹底。</p> <p>3. 機械科</p> <p>①安全指導の徹底と実習災害「0」、および実習室のごみ処理・掃除忘れ「0」。</p> <p>②基礎力の定着。（課題テスト平均点 50 点以上。10 点以下の生徒を減らす。）</p> <p>③全体の資格合格率 60%。（昨年度 58.0%）</p> <p>4. 資格取得の奨励</p> <p>①第一種電気工事士合格 10 名以上、第二種電気工事士合格 50 名以上。</p> <p>②電気基礎認定試験合格 15 名以上。高校工業基礎学力テスト平均 45 点以上。</p> | <p>1. 基礎学力の向上と定着</p> <p>①夏休み中に基礎学力向上講習を実施。（8/30・8/31）</p> <p>②1学期定期試験中に不正行為発覚。 体育授業中のけがは複数件あり。</p> <p>③具体的方策を施策中。</p> <p>2. 電気・電子科</p> <p>①実習事故「0」。</p> <p>②管理台帳記入状況良好。 破損箇所無し、実習室の整理整頓継続中。</p> <p>3. 機械科</p> <p>①軽微な事故 2 件報告有り。 ごみ処理・掃除忘れは継続指導中</p> <p>②1年 45.1 点、2年 36.1 点 3年 45.2 点 10 点未満：1年 0 名、2年 18 名、3年 0 名</p> <p>③合格率 54% (延べ 439 名合格/809 名受験)</p> <p>4. 資格取得の奨励</p> <p>①第一種電気工事士 10 名、 第二種電気工事士 43 名、 第 2 級陸上特殊無線 24 名、 航空特殊無線 5 名、IT パスポート 1 名、 情報処理技術者（応用）1 名、（基本）2 名。</p> <p>②電気基礎認定試験合格 13 名、 工業基礎学力テストは平均 38.8 点。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>③愛知県知事技術顕彰 110 名以上の受賞。</p> <p>④卒業時、3 年生 1 人あたりの資格取得 4 つ以上。</p> <p>⑤ジュニアマイスター顕彰 7 名以上受賞。</p> <p>⑥国家資格 2 5 0 名以上の取得。</p> <p>5. 図書</p> <p>①朝読実施クラス 10 クラス。</p> <p>②生徒からのリクエスト図書を 10 冊入荷。</p> <p>③文化祭にて図書室のアピールを行う。</p> <p>④図書スペースにて図書に関連した告知を行う。</p> <p>6. 教員の資質向上</p> <p>①研究授業、現職研修の実施</p> | <p>③愛知県知事技術顕彰 81 名受賞。</p> <p>④卒業生 1 人あたり 3.61 個取得。</p> <p>⑤29 名。(ゴールド 4、シルバー 8、ブロンズ 16、特別表彰 1)</p> <p>⑥のべ 112 名取得。(未登録者あり)</p> <p>5. 図書</p> <p>①継続して現在呼びかけ中。</p> <p>②5 冊入荷。</p> <p>③さらなるアピールが必要。</p> <p>④パンフレット、夏の 100 冊小冊子設置。</p> <p>6. 教員の資質向上</p> <p>①研究授業は 4 名実施。現職研修は 2 回実施。</p> |
|---|---|

【自己評価及び課題等】

1. 基礎学力の向上と定着

- 各教科と連携し、重点項目を掲げるとともに、無理のない学習計画を立て、理解しやすい所から授業を始める。
- 不正行為をさせない試験監督としての自覚が必要。体育授業中のけがは、昔と違い、幼少期の遊びから養われる運動能力が極端に低下しており、想定外のけがが増加傾向。
- 将来的に就職にも進学にも対応できる幅広い分野の学習指導が必要。

2. 電気・電子科

- 安全や整理整頓に対しては、現状を維持するための教員間の共通意識が必要。
- 今後は電子系資格合格者の一層の増加を図る。

3. 機械科

- 実習中のけがや事故については、軽微なものだからと軽視せず、担当者同士でその情報を共有し、再発防止に努める。
- 基礎力の向上については今後さらに具体的な取り組みが必要。

4. 資格取得の奨励

- コロナ感染予防期間が緩和され、通常の状態に戻りつつある。中でも第一種電気工事士(10 名)や情報処理技術者試験(応用)合格(1 名)は特筆すべき成果。

5. 図書

- 朝読を実施するための落ち着いた環境づくりが必要。
- 読書そのものの魅力をアピールする取り組みを継続する。
- 本校舎と図書室のある橘校舎が離れているため、教員も含め利用しにくい環境。利用しやすくするための方策を思案中。

6. 教員の資質向上

- 現職研修の1回目（6/18）は各科（普通科…「教育のDX化を踏まえたICTの活用」、電気電子科…「3Dプリンターの構造理解と運用方法」、機械科…「3DCADおよび3Dプリンターの使用方法」／「ドラフターを用いた製図」）に分かれて実施。2回目（10/8）は「美語研修」を実施。
- 研究授業は2学期に○回実施。

教務科（進路指導に関わる項目）

| 重点項目 | 主な結果 |
|--|---|
| 1. 就職 ①インターンシップ（2年次7月） ②面接指導の徹底。 ③学校紹介一次内定率90%以上。 ④12月末までに就職希望者内定100%達成。 | 1. 就職 ①2年生141名が参加。 ②9/5～9/15に実施。 ③94.7% ④12月末までの達成できず。 |
| 2. 進学 ①年内に進学希望者合格率100%。 ②姉妹校への進学者数確保。 （愛産大30名、ELIC10名以上） ③総合型選抜入試の合格率60%。 | 2. 進学 ①2月に100%達成。 ②愛産大21名ELIC7名合格。 ③四大87%、短大100%、 専門学校97.1%、全体93.1% 達成。 |

【自己評価及び課題等】

1. 就職

- 内定者に対しても不採用者に対しても、丁寧できめ細かな指導を心掛け、最終的には内定率100%を達成できた。
- 急遽、年末に進学から就職に希望変更あり、年内内定100%は達成できなかった。様々なケースに対応できる適切な指導の備えが必要。

2. 進学

- 高大連携の事業として例年実施している愛産大夏期集中講義は、今年度は8/4～8/9に19名（3年生16名、2年生3名）が受講したが、愛産大への入学者数は目標には至らなかった。
- 多種多様な入学試験方法に対応できる基礎学力の向上と面接指導の強化が必要。

指導科（生活指導・特別指導に関わる項目）

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|---|
| <p>1. 基本的な生活習慣を確立し、生徒個々の規範意識の向上を目指す。</p> <p>①頭髪最終指導者各学年5名以下。 ②遅刻指数1.5以下、欠席指数2.0以下。</p> <p>③無断アルバイトゼロ。 ④校内盗難ゼロ。 ⑤制服・カバンの見直しを図る。</p> <p>⑥正副ルーム長のリーダーシップを高める。</p> <p>2. 問題行動（非行・いじめ）防止の意識を高める。</p> <p>①特別指導者年間20名以内。 ②SNS等のネットマナーの徹底。 ③4ナイ運動の徹底 ④特別指導中の指導教材の選定。 ⑤学期ごとの生活アンケート実施。</p> | <p>1. 基本的な生活習慣を確立し、生徒個々の規範意識の向上を目指す。</p> <p>①減少傾向。 ②遅刻・欠席ともに大幅な増加。遅刻指数1.7→2.5、欠席指数2.4→4.1 ③無断アルバイト無し。 ④校内盗難無し。 ⑤時代の流れから、カバンは自由化へ。 ⑥不十分。</p> <p>2. 問題行動（非行・いじめ）防止の意識を高める。</p> <p>①28名の生徒が特別指導対象となった。飲酒・喫煙行為は全体の約4割。 ②SNS不正使用発覚は5名。 ③「4ナイ」違反による特別指導者2名、無断入校2名。 ④新聞コラムに対する感想と読書を課題として加え、映像教材の中身を厳選。 ⑤「いじめ」行為の未然防止。</p> |

【自己評価及び課題等】

1. 基本的な生活習慣を確立し、生徒個々の規範意識の向上を目指す。

- 服装も頭髪も違反者を黙認せず、学校規則に基いて保護者の理解を得ながら、教員間の統一した基準で指導することが必要。令和5年度は「リクルースタイル」で統一。
- 頭髪指導に対して教員間の差異が生じないよう共通の認識が必要。
- 携帯電話ははじめ所有物はロッカーでの自己管理を徹底させる。
- 新たな生徒指導規定を保護者・生徒・学校で検討。
- 生徒の行動の変化を見逃さず、機会をとらえた指導を実践する。

2. 問題行動（非行・いじめ）防止の意識を高める。

- SNS 不正使用発覚は全体的には減少傾向であるが、Instagramによる不正活用について継続指導が必要。今後も引き続き SNS での誹謗中傷や命の尊さに力点を置く指導を強化する。
- 「4ナイ」運動は、自動車学校との連携を強化し、運転免許取得状況の把握に努める。
- 「4ナイ」違反に加え、暴力行為や器物破損が増加傾向。
- 問題行動生徒に対しては、本人・保護者・学校間での連携と話し合いが大切。本人への深い自省を促す有効な指導内容を検討して、今後も再発防止に努める。
- 学期ごとに「生活アンケート」を実施し、いじめに発展し得る行為について学級担任が早期かつ的確に把握する。「他者を尊重する思いやりを育てる」学校の実現を目指す。

指導科（保健・安全教育に関わる項目）

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|--|
| <p>1. 登下校マナーの向上と安全指導</p> <p>①愛知県警主催の「200 日間自転車無事故無違反ラリー」に挑戦し、6年連続表彰に挑戦する。 (6/7～12/31)</p> <p>②自転車通学者の車両点検の徹底と保険加入および登録申請 100%。</p> <p>③自転車通学者対象の交通安全指導を年2回実施し、ヘルメット着用による安全意識を高める。</p> <p>④公共交通機関利用時のマナーおよび通学路マナーとモラルの向上を目指し、関連ポスターなどを校内掲示する。</p> | <p>1. 登下校マナーの向上と安全指導</p> <p>①無事故無違反ラリー6年連続達成。</p> <p>②全車両の点検および保険加入登録申請済み。</p> <p>③中署の協力を得て安全指導を実施。</p> <p>④マナーとモラルについてのポスター掲示。金山駅周辺の巡回指導を随時実施。</p> |
| <p>2. 健康への関心を高める取り組み</p> <p>①健康診断結果に基づき、必要な場合は専門医療機関での再検査や再治療を呼びかける。</p> <p>②「保健室通信」を月1回発行し、健康への関心を高める。</p> <p>③LTを利用し、各学年2～3回「保健指導」を実施する。</p> | <p>2. 健康への関心を高める取り組み</p> <p>①健康診断結果は4月末に、再検査勧告書は5月中に配布済み。</p> <p>②毎月1回発行。(計11回) HPにも掲載。</p> <p>③1・2年生に2回ずつ実施。3年生は1回実施。</p> |

【自己評価及び課題等】

1. 登下校マナーの向上と安全指導

- 交通法令は浸透してきているが、通学途上での自転車事故が複数発生しており、安全運転の意識啓発（ヘルメットの着用など）を継続して行う必要がある。また、定期的な職員による通学路の巡回指導を随時実施している。
- 自転車通学者以外の生徒に対しても昼放課の放送指導を通じて交通安全指導を実施。
- 保健室通信を各教室に掲示のほかホームページにも掲載中。

2. 健康への関心を高める取り組み

- コロナ感染拡大の時期は生徒を一箇所に集めての保健指導がやりにくくなっていたが、徐々に緩和され、一斉指導を復活させていきたい。さらにそれに加え、様々な方法で情報を発信し、健康への関心を高めていきたい。

指導科（生徒会・社会貢献・生徒相談に関わる項目）

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|--|
| <p>1. 部活動と委員会活動の活性化</p> <p>①部活動入部者 75%。 ②委員会活動において具体的目標を定める。 ③委員会だよりの発行（学期に1回）。 ④部活動関係書類の速やかな処理。</p> <p>2. 地域に貢献できる活動への積極的参加</p> <p>①郷土美化合同奉仕活動ボランティア参加 20名。 ②缶詰め 100万個ボランティア協力 20名。 ③卒業献血協力者 100名以上。 ④地域・社会貢献の充実を図る。 (1)通学路クリーン運動 (2)夏期高校生ボランティア活動 (3)秋の橘座公演実施</p> | <p>1. 部活動と委員会活動の活性化</p> <p>①1年生入部率 64%。 ②コロナの影響が残り、全体的には不十分。委員会は人数を制限して実施。 ③生徒会だよりにして1回発行。その他としてアンケートを実施。 ④Teams を利用するなど、年度を通して円滑な提出が行えた。</p> <p>2. 地域に貢献できる活動への積極的参加</p> <p>①コロナにより本年度も中止。 ②12/3実施。30名参加。 ③今年度も中止。 ④ (1)ゼロの日に実施。 (2)67名参加。 (3)コロナのため中止。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>(4)あけぼの学園活動参加</p> <p>3. 心の支援活動</p> <p>①サポートミーティングの定期的開催。</p> <p>②SC (スクールカウンセラー) によるカウンセリング実施。</p> <p>③保護者対象の心理学講座の開講。</p> | <p>(4)規模を縮小して実施 12/23。</p> <p>3. 心の支援活動</p> <p>①毎月1回、月末に実施。</p> <p>②希望生徒に対して適宜実施。</p> <p>③11/17 開講。</p> |
|--|--|

【自己評価及び課題等】

1. 部活動と委員会活動の活性化

- 委員会活動については活動内容が不透明なため、自発的かつ発展的な開催を目指す。
デジタル掲示板を利用して生徒会活動を発信。

2. 地域に貢献できる活動への積極的参加

- 地域に愛される学校づくりの一環として地道に奉仕活動を展開する。
- コロナの影響で見合わせている奉仕活動の早期開催実現を目指す。

3. 心の支援活動

- サポートミーティングの実施により、悩みを抱える生徒の把握と情報の共有を図る。

【主な部活動や同好会の成績】

- ◎第37回シマノ鈴鹿ロードレース5週の部 B 2組
第1位 佐々 鴻士朗 (機械科2年E組)
- ◎第17回若年者ものづくり競技大会 電気工事職種
金賞/厚生労働大臣賞 林 春輝 (電気科3年B組)
- ◎第28回愛知県高等学校工業教育研究会 総合競技大会 電気工事競技の部
第2位 櫻井 春希 (電気科3年A組)
- ◎第21回高校生ものづくりコンテスト東海大会 電気工事部門
金賞 櫻井 春希 (電気科3年A組)
- ◎第20回高等学校エコカーレース総合大会エコハイA (※EV自動車のレース大会)
第4位 チームBEANS
第5位 チームVIDALII
- ◎令和4年度愛知県高等学校バレーボール選手権大会
ベスト8
- ◎中部電力パワーグリッド第64回名古屋市民スポーツ祭バレーボール競技
準優勝
- ◎第75回愛知県高等学校野球選手権大会 名古屋地区予選突破
県大会1回戦 本校4-1横須賀

- ◎第22回 高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門
優勝 櫻井 春希 (電気科3年A組)
- ◎第54回全国高等学校ホッケー大会 東海地区予選
第3位
- ◎第48回マーチングバンド東海大会 銀賞受賞
- ◎第6回カラーガード・マーチングパーカッション東海大会 金賞受賞
- ◎第6回カラーガード・マーチングパーカッション全国大会 銅賞
- ◎第21回マーチングステージ全国大会 優秀賞
- ◎令和4年度愛知県高等学校新人体育大会少林寺拳法競技 規定組演武
第2位 永田 惺士 (機械科2年F組) ・中易快仁 (機械科2年F組) ペア
- ◎第26回全国高等学校少林寺拳法大会 規定組演武 出場
永田 惺士 (機械科2年F組) ・中易快仁 (機械科2年F組) ペア
- ◎令和4年度愛知県高等学校新人体育大会自転車競技
第7位 坪根 亮惺 (機械科2年F組)
第8位 佐々鴻士朗 (機械科2年E組)
- ◎令和4年度全国高等学校選抜自転車競技大会 出場
4km速度競走 坪根 亮惺 (機械科2年F組)
スプリント 佐々鴻士朗 (機械科2年E組)
- ◎令和4年度東海高等学校バレーボール選抜大会 ベスト8
- ◎令和4年度東海私学バレーボール大会 第3位
- ◎令和4年度名古屋地区バレーボール名南北カップ 優勝

校務科 (学校管理・保護者対応に関わる項目)

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|--|
| <p>1. 安全面・学習面に配慮した教育環境の整備・充実</p> <p>①校内設備による怪我ゼロを目標に施設、設備の定期点検の他、日頃からの見回りを実施して事故を未然に防ぐ。また、生徒に対し、危険因子を説明し、器物破損・事故防止の意識を高める。</p> <p>②省エネを推進し、目標値「前年度比1%削減」を目標に、意識の高揚を図る。</p> <p>③環境衛生に気を配り、ごみを前年比3%減少する。</p> | <p>1. 安全面・学習面に配慮した教育環境の整備・充実</p> <p>①校内設備によるけがはゼロ。引き続き、けがや事故の発生しない環境整備を目指す。</p> <p>②エアコン使用後の確実な電源OFFが不十分。</p> <p>③生徒および教職員の意識向上啓発中。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>2. 危機管理</p> <p>①防災訓練を計画・実施し、教員・生徒の意識を高める。また、不審者侵入の対応を検討し未然防止を図る。</p> <p>3. 学校環境衛生</p> <p>①舎内外の清掃の徹底</p> <p>②ゴミの分別徹底。減量化</p> <p>4. 保護者会活動の充実・学校行事への参加</p> <p>①保護者役員会を年5回実施</p> <p>②学校行事等の案内を出し、できるだけ多くの保護者に参加して頂く。</p> | <p>2. 危機管理</p> <p>①不審者侵入対応訓練を5/23 岩塚校舎風水害対策訓練を5/24、シェイクアウト訓練及び避難訓練を9/1にそれぞれ実施。</p> <p>3. 学校環境衛生</p> <p>①夏休み期間業者による清掃を実施。今後は維持・管理を強化する。</p> <p>②毎日ゴミ回収に教員が立会い指導。</p> <p>4. 保護者会活動の充実・学校行事への参加</p> <p>①総会…5/7に実施 第1回…4/23、第2回…7/8、第3回…9/9、第4回…12/9、第5回…2/18に実施</p> <p>②コロナの影響により、一部内容を変更・縮小して行ったものもあったが、概ね従来通りに実施できた。</p> |
|---|--|

【自己評価及び課題等】

1. 安全面・学習面に配慮した教育環境の整備・充実

○継続して安全点検を実行し、安全状態の維持および危険箇所の撲滅に努める。省エネについては、これまで以上の強い啓発活動と教員自身の意識改革が必要。

2. 危機管理

○大規模災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施し、速やかな避難の実践を図る。

3. 学校環境衛生

○ごみの分別や削減は、生徒への指導は当然であるが、教員の意識向上も必要である。

4. 保護者会活動の充実・学校行事への参加

○保護者との信頼関係を維持するため、また生徒のために、保護者会活動を重要な位置づけとして捉えた取り組みを継続していきたい。

校務科（渉外・生徒募集に関わる項目）

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|--|
| <p>1. 次年度の生徒募集に向けた取り組み</p> <p>①推薦入学 350 名超の獲得。 ②一般受験生 1000 名超の獲得。 ③入学者 420 名の確保。 ④体験入学・入部、見学説明会の延べ参加数 1250 名超。</p> <p>2. ホームページによる情報の提供</p> <p>①ブログの更新</p> | <p>1. 次年度の生徒募集に向けた取り組み</p> <p>①推薦・特色で 208 名入学 ②676 名受験。 ③238 名入学。 ④中学生 786 名参加。 （体験入学・入部…347 名、 見学説明会…439 名） ④体験入学入部 8/5・8/6 に 実施。見学説明会は 10/22,11/19,11/26 に実施</p> <p>2. ホームページによる情報の提供</p> <p>①学校行事や各学年通信、部 活動成果をブログに掲載し た。</p> |

【自己評価及び課題等】

1. 次年度の生徒募集に向けた取り組み

○体験入学・入部や見学説明会は次年度の生徒募集に繋がる重要な行事であるため、コロナ感染対策をきちんと実施したうえで、中止とせず、可能な限り開催した。

2. ホームページまたは印刷物による情報の提供

○担当者との連絡を密にし、いち早く情報を提供できるよう工夫が必要。

各学年の目標

| 重点目標 | 主な結果 |
|---|---|
| <p>1. 1 学年</p> <p>①定期試験平均点 60 点以上。 ②欠席率・遅刻率ともに 1. 0 %以内。 ③退学率 2 %以内。 ④愛知県知事技術顕彰受賞者 5 0 %以上。</p> | <p>1. 1 学年</p> <p>①61.1 点（学年末） ②欠席率 2.06、遅刻率 0.86 ③3.6%（転籍 4 名，転学 3 名， 退学 4 名，除籍 1 名） ④次年度に期待。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>2. 2 学年</p> <p>①定期試験平均 60 点以上。 ②欠席率 2 %，遅刻率 1 %以内。 ③愛知県知事技術顕彰受賞者総計 100 名以上。 ④転退学者率 3 %（9 名）以内。</p> <p>3. 3 学年</p> <p>①定期試験平均点 60 点以上。 ②姉妹校進学者 30 名以上。 ③就職一次内定率 85%以上。年内の内定完了。 ④ジュニアマイスター顕彰 5 名以上。</p> | <p>2. 2 学年</p> <p>①61.3 点（学年末） ②欠席率 2.9、遅刻率 1.6 ③61 名。 ④転籍 7 名、転学 7 名、 退学 14 名。計 28 名 (5.7%)</p> <p>3. 3 学年</p> <p>①60.1 点（学年末） ②愛産大 21 名、ELIC7 名が 合格。 ③94.7%。年内の内定は未達 成。 ④ゴールド 4 名、シルバー6 名、ブロンズ 16 名、特別 1 名</p> |
|--|---|

【自己評価及び課題等】

- 生活習慣の乱れが成績不振につながっていくことが多いことから、保護者との連携を強化して安定した学校生活の実現を目指す。
- 数値の設定だけにとどまらず目標達成に向けた具体的対策が必要。

令和4年度 保護者学校評価アンケート結果

□ 思う □ 普通 □ 思わない □ わからない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

学校は教育目標や教育方針を生徒・保護者に十分説明している。



学校は生徒に高校生としての自覚を持たせ、特色ある教育活動を行っている。



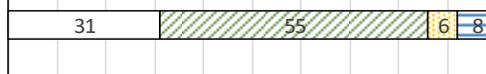
学校の雰囲気良く、生徒は、充実した学校生活を送っている。



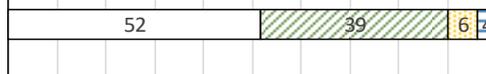
学校は生徒の実態に応じ、個別の課題設定や補充授業など、学力定着のための工夫を行っている。



学校は生徒の進路目標に応じ、柔軟な学習内容を提供している。



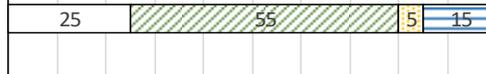
学校は生徒に資格試験や検定試験を通して、多様な学習機会を提供している。



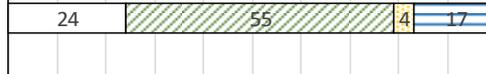
学校は挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。



学校は教員やカウンセラーが必要な時に親身になって相談に対応する体制ができています。



学校は外部講師を招いて講習会を実施するなど生徒の健康や安全についての教育を十分行っている。



学校は進路目標の明確化に向け、生徒に必要な情報を提供している。



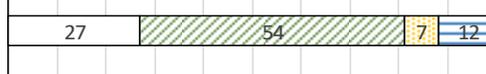
学校は希望進路の実現に向けて、きめ細かい指導を行っている。



学校は体育大会などの学校行事で、生徒が積極的に参加できるよう工夫している。



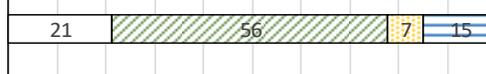
学校はボランティア活動や美化活動を通して地域社会への貢献を促し、奉仕の精神を学ぶよう指導している。



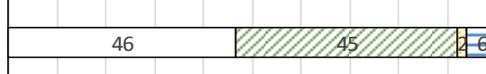
学校は部活動や生徒会活動に積極的に取り組むよう指導し、またその環境を整えている。



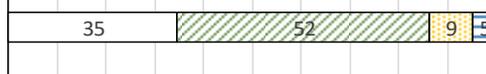
学校は地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。



学校は新型コロナウイルス感染症拡大防止に対して校内各所に衛生備品を設置するなど適切に対応している。



学校はホームページや学年通信・保健室通信などによって、学校の情報を適切に伝えている。



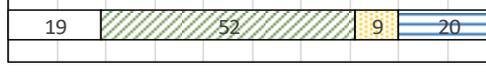
学校は定期的に学校生活アンケートを実施するなど日頃からいじめの早期発見・対応に取り組んでいる。



学校の施設・設備等の教育環境は、充実している。



学校は災害などの対応について、生徒・保護者に周知し、対応訓練を実施している。



◎回答率 941 / 1,137 = 82.8 [%]